

特集 新総合事業を探る!

新総合事業の課題と今後の展望	岩名礼介
地域包括ケアと新総合事業の展開	鈴木淳子
新総合事業と地域におけるリハ活動	阿比留友樹
新総合事業と高齢者支援の実践	安本勝博
地域づくりの中での新総合事業の実践①	江田佳子
地域づくりの中での新総合事業の実践②	田中明美

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集後記

編集後記を書いているこの時期、世の中を騒がせているのは、スポーツ界の指導に関するニュースです。行き過ぎた指導がとうとう傷害事件になるのではないかと思います。今回の事件だけではなく、これまで相撲や剣道など他のスポーツでも、こういった指導者と選手の関係、選手の中でも先輩後輩の関係は、上意下達、上位の人が言うことに口答えをしない、できない関係というのは危険である、変えなくてはいけないということはずっと言われてきました。しかし、閉鎖社会になりやすい集団では事件にならないと明らかにならないということがあるのでしょうか。

編集部の所属する機関では、ここ何年か前から「ハラスメント」に関してちょっとやりすぎではないかと思われるほどの気の使いようです。ハラスメントにはよく知られているセクシャルハラスメントやパワーハラスメント、アカデミックハラスメントだけではなく、カスタマーハラスメント、フォトハラスメント、エアハラスメント、エレクトロニックハラスメント、キャンパスハラスメント、セカンドハラスメント、ジェンダーハラスメント、ブラッドタイプハラスメント、レイシャルハラスメントなど40種類以上あるそうです。すべてのことに気を使いすぎたら、何にもできなくなるのではないかと思うことがあります。セクシャルハラスメントは多くが男性から女性に向けられるものですが、男性がそんな気ではなくても女性のほうで「いやだ」と思ったらその振る舞いは「ハラスメント」と言われます。そうすると、上司が部下に対しても、良かれと思ってやったことがある一人の部下が「嫌だ」と思った時点で「パワハラ」になるというわけで、円滑にしかも達成基準の高い仕事につなげていくために言いたいことも言えない関係を作ってしまうことが危惧されます。さらに学生と教員の関係は、これまた難しいもので、ある学生が嫌だと思ったら「アカハラ」と言われるようになれば、教員としても適切な程度に厳しい指導であってもやりにくくなるというわけです。本来の教育から外れていかなないかなあと心配にもなります。

スポーツでも仕事でも「こうなりたい」「こうありたい」という目標に向かって、集団の中で頑張っていくものです。その中で、お互いがそれぞれの意図や考えていることを理解しながら協働する、あれ?これってリハの理念だと書いていて気が付きました。われわれは、時代の最先端の仕事をしているのですね。

編集委員 西脇恵子

●編集名譽顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上蘭紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	川越雅弘
木下康仁	桑山浩明
小林直樹	齋藤正洋
榊原次郎	座小田孝安
佐藤久夫	鈴木孝治
武原光志	玉垣 努
角町正勝	土井勝幸
野尻晋一	橋本美芽
長谷川幹	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
若林秀隆	

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
阪井康友	澤 俊二
野崎園子	備酒伸彦
松坂誠應	水間正澄

第13巻第6号[通巻147号] 2018年6月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 6月号

1部定価(本体1,800円+税)
2018年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2018, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株) メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】©出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。